

[短 報]

## 静岡市におけるウマノオバチの採集記録

高 月 誠\*・高 月 稜\*・高 月 宏一朗\*・高 月 恵 美\*

Collection of *Euurobracon yokahamae* Dalla Torre,  
1989 (Hymenoptera) in Shizuoka

Makoto TAKATSUKI\*, Ryo TAKATSUKI\*,  
Kouichiro TAKATSUKI\* and Emi TAKATSUKI\*

2009年4月26日午前10時ごろ、静岡市駿河区古宿の有度山丘陵のコナラを主体とした雑木林で、高さ30cmほどの低木に止まっていた本種の1を採集した。発見した有度山丘陵は雑木林が少ないながら残され、ミヤマカミキリも確認されたことから本種の生育環境はまだ保たれていると考えられる。

本種はクヌギ、コナラなどを食するミヤマカミキリやシロスジカミキリの幼虫に産卵する比較的大型のコマユバチであり、体長に対して非常に長い産卵管を持っているのが特徴である。近年雑木林の減少や里山の環境の変化で個体数が減少しており、環境省のレッドデータブックには準絶滅危惧種に分類され、静岡県内での報告例も限られている(杉山, 2010)。

採集した個体は体長23mm、産卵管長172mmで体長に対する産卵管長の比率は7.48であった(図1)。

過去の報告例(杉山, 2010; 榎原・吉武, 2010)に比べると今回の個体は体長、産卵管長ともに大きいものであったが、体長に対する産卵管長の比率は中等度であった。

またこの個体を、縦40cm、横23cm、高さ30cmのプラスチックケースに、木片と餌として市販の昆虫ゼリーとともに入れたが、餌を食べることも無く8日後の5月4日に死亡した。

### 引用文献

杉山高史 (2010) 藤枝市におけるウマノオバチの採集記録. 駿河の昆虫, 229号, p.6350.

榎原 寛・吉武 孝 (2010) ウマノオバチ 成虫に関する簡単な知見. 月間むし, 467号, p.27-29.

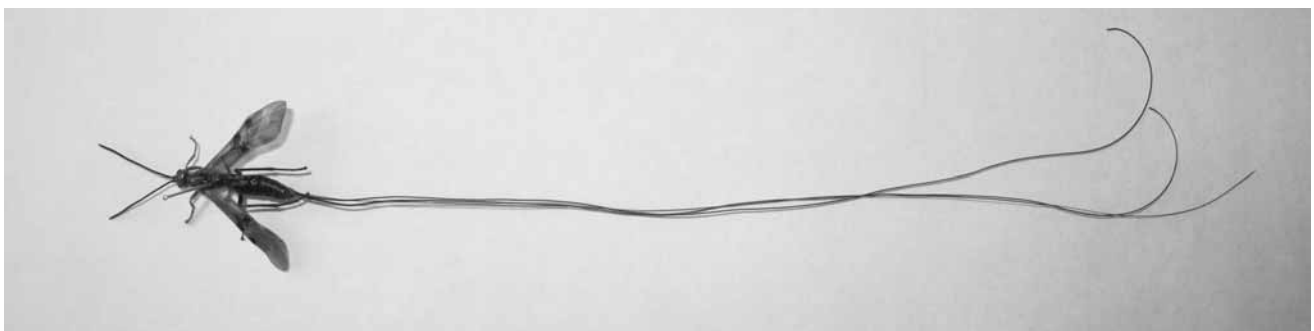


図1 ウマノオバチ標本写真. 産卵管, 産卵管鞘に分離している.

\* 424-0835 静岡県静岡市清水区上清水町3-1  
3-1 Kamishimizu-cho, Shimizu-ku, Shizuoka, 424-0835, Japan